湯ノ湖

湯ノ湖は、長い歴史を持つ温泉地「奧日光湯元温泉」の近くに位置しています。公園内のその他の湖と同様に、湯ノ湖も火山活動の結果として形成された高地にある湖です。三岳の溶岩流が川流れせき止め、やがて湯ノ湖が形成されました。この湖の季節ごとの美しさは、湖を囲む3kmの歩道からもっともよく鑑賞できます。湖東部の小さな半島には、ツルコケモモやワタスゲのある湿原があります。

5月や6月には、トウゴクミバツツジが湖に咲き、秋には色とりどりの紅葉を湖の水が美しく映し出します。フィッシングの場としても人気で、穏やかな樹林に囲まれた湖で、優雅に釣りを楽しむ人々の姿も、定番の風景です。